

感性認知脳科学専攻

第53回 「こころ」の科学セミナー

第23回 プレミアム論文研究セミナー

犯罪捜査と脳科学：
ポリグラフ検査から見た現状と課題

松田 いづみ先生

科学警察研究所 法科学第四部 情報科学第一研究室 主任研究官

12/19/2016
(Mon)
15:00～

総合研究棟D・1階・公開講義室

警察では近年、自供の強要による冤罪事件を受け、取調べのあり方を見直している。その流れの中で、ポリグラフ検査が再注目されている。ポリグラフ検査では、容疑者が事件について知っているか否かを、言葉ではなく生体信号を手がかりにして推定する。容疑者の認識を客観的な証拠として提示できる能力を秘めているが、証拠としての価値は高くない。証拠価値を高めるため、現在用いられている自律神経系反応に加え、行動反応や脳活動の測定により推定精度を上げることが試みられている。また、脳活動から検査の背後にある認知プロセスを説明しようとする試みもある。本講演では、ポリグラフ検査に関わる脳活動の研究動向を紹介する。その上で、脳科学に寄せる期待と、クリアすべき課題について述べたい。